

Gxviewの解説

Gxview の特徴

従来のファイル名での操作から、新たに『画像名』が付けられて、画像名による操作に変更されました。これにより従来のファイル名を変更したりする処理は無くなりました。

個々の画像名で処理する事で、より自由に、わかり易い操作が可能となりました。

従来のグラフィックビューアの機能を取り揃えていますが、リストモードが新たに付いていて、処理方法が変更されています。

特に、リストモードで実行中に、任意の位置で「親 Dir 変更」を行う事で、表示中の画像のフォルダからリストモードを離れ

通常のビューア機能に移行出来ます。いかにも画像リストを「画像メニュー」の如き使用が可能となっています。

たくさんのフォルダに画像を管理している時に威力を発揮します。

『Gxview』の最大の目玉は、この画像名でリストモードが扱える事です。

リストモードとは何かを説明は別項を参照下さい。

スライドショー時に表示されるファイル名も画像名に変更されました。

スライドショーの再生リストが自動で作られて、この内容をメモ帳などで簡単に見る事が出来ます。

各リストにタイトルを付けて、スライドショーの最初に表示する機能が付いています。勿論画像の説明も付けられます。

一般のスライドショーの他にオートプレー機能を装備しています。スライドショーをウインドウ枠内で見ながら、アクティブウインドウで他の作業を行えます。このマルチ機能を利用すれば、何個もの「Gxview」を起動して、同時にスライドショーを何個も同一画面内で見ることが出来ます。

通常の一画面スライドショーでは、画像の説明などをテロップのようにして見る事が出来ます。

画像を見ながらマークを付ける事が出来ます。このマークを付けた画像をコピーや移動したり、名前を変えたり、リストを作成したり、スライドショーを実行したり、様々な操作が出来ます。

OLE がサポートされています。「Gxview」を起動中にエクスプローラ等で、任意の画像をドラッグして「Gxview」上にドロップすると、その画像に変更され、処理フォルダも変更されます。

上記の逆も出来ます。「Gxview」の画像をドラッグ(画像が大きい時は表示位置移動が優先する為、その時は「Ctrl」を押しながらドラッグする)でエクスプローラへ画像のコピーが出来ます。また任意のアプリケーションへドラッグドロップで様々な処理が出来ます。処理内容はアプリケーションにより異なります。

「GmanX」「GrpeeX」「Gxview」へのドラッグドロップでフォルダの変更が出来ます。

Gxview の起動の仕方

Gxview のインストールが終了したら、起動させて下さい。

Gxview をインストールしたら、エクスプローラで画像を右ボタンクリックで表示されるサブメニューに「Gxview」のメニューが表示されますので、この「Gxview」の項目をクリックして起動します。下記の方法でも起動出来ます。

Windowsの[スタート]ボタンを押して[プログラム(P)]の項目から[TecProjp]の項目の中から、[Gxview]をクリックします。若し[TecProjp] [Gxview]の項目が無い場合はインストールが出来ていません、インストールを行って下さい。

ここから起動した場合は最初に画像を選択して下さいのメッセージが出ますので、選択画面から「JPG 画像」を選択して下さい。

GmanX、GxSort、GrpeeX の各メニューから [Gxview 起動]で任意の起動が出来ます。

その他(パソコンに詳しい方は、何らかの方法で任意の画像を Gxview に引き渡して起動させて下さい。)

起動時に引き渡せる引数(起動情報)は、「JPG 画像」「GX リスト」「Gman リスト」です。

画像名について

今までファイル名で認知、操作していた処理は、全て「画像名」で扱う様になりました。

各画像ファイルには、

自由に画像名付けられます、ファイル名は今まで通りで変更しないので、画像を画像名で判断が付く画像名を付けると

大変判り易くなります。又今までの様にファイル名の順番にスライドショーをするのではなく、自由に並び替えた順番に

スライドショーを実行する事が出来ます。各フォルダ内の画像も通常使用しない画像は使わない様に設定出来ますので

任意の画像のみをリストアップして「Gxview」で使用する事が出来ます。

従来のファイル名リストを表示した時、ファイル名ではなく、「画像名」が表示されず。

これらは、GXシリーズ、「GrpeeX」「GxSort」「GmanX」で共通の仕様となっています。

「画像名」は、「GrpeeX」等で作成出来ますが、初期状態で画像名の付いていない状況下では「Gxview」起動時に自動で

ファイル名から作成されます。「Gxview」で画像名を変更する機能も付いています。

尚、これにより「Gxview」でファイル名を直接変更する機能は無くなりました。

リストモードについて

「Gxview」はリストモードが扱える画像ビューアです。

リストモードとは、あらゆる場所に保管している画像を、いかにも一箇所に保管して有るように取り扱える仮想フォルダです。

「GmanX」等で区分整理された画像を他に移動やコピーする事無しに原版の画像を利用する事が出来る全く新しい考えの

画像閲覧ツールです。たくさんのフォルダから任意の画像を取り揃えて任意の仮想フォルダにリストアップする事で、

リストだけの仮想フォルダが、いかにも一つのフォルダのように取り扱えます。

元の原画を一切移動したりせずに、仮想フォルダ内で処理出来ます。「Gxview」を使えば、スライドショーや様々な処理が

仮想フォルダ内に実在するかの様に取り扱えます。

仮想フォルダとは、画像の一覧のリストのみのデータです。それゆえに簡単に取り扱えます、間違えて元の画像を修正したり削除したり、何処か見つからなくなったと言う心配も有りません。

「リストの作成」はテキストエディタで作成出来ますが、「GxSort」「GmanX」を使えば自由に好きな画像を仮想フォルダに集める事が出来ますのでリスト作成が簡単に出来ます。

Gxview の基本操作

「Gxview」は画面上にメニューもツールボタンも有りません(一部キー以外)、コマンドはマウスの右ボタンクリックでポップアップメニューを表示して下さい。起動時はこの機能も有りません、一度マウスの右ボタンをクリックするか、画面左上の「Gxview」をマウスでクリックするか「Enter」キーか「Space」キーを押します。

これで画像の左上に[][]の移動キーが表示されればたくさんの機能を実行出来る様になります。この時「Gxview」表示が「Manual」に変わります。

[][]で同じフォルダ内の次の画像に移動します。キーボードの矢印キーの「↑」「↓」でも同じ動作と成ります。

「Space」キーは直前の移動方向に移動します。直前が下矢印の時は次の画像、上矢印の時は前の画像に戻ります。「ESC」キーで終了します。

画像内の矢印ボタンの表示を消す事が出来ます。[数字0キー]

ファイル・リストを表示する事が出来ます、リストを表示すると、リスト内のファイル名をクリックする事で、簡単に表示画像を変更出来ます。

「Enter」キーを押すと、表示中の画像にマークが付きます、マークを付けた画像は、マーク画像だけ表示するようしたり、マークを付けた画像を他にコピーしたり、移動したり、削除したり出来ます、マークリストを保存したり、読み出したり、編集したりも出来ます。マークファイルを反転したりも出来ます。

「Auto」ファイルのスライドショーが出来ます、他のアプリケーションを使い乍らスライドショー表示が出来ます。

システムや、画面の許す限り、何個も起動させて、Auto 処理で幾つも同時に動かす事も可能です。

スライドショーは通常の他にマークした画像のみでスライドショーが出来ます、

スライドショーの方向も直前の操作が反映されますので、次の画面に移って行く事や、前の画面に戻って行く事が出来ます、スライドショー中でも、ボタンやキーで逆転が出来ます。

画像が縦、横どちらかがスクリーンより画面より大きな場合、マウスをドラッグして動かす事が出来ます。

マウス操作一覧

[画像]をダブルクリック = 全画面表示になります。

[ドラッグ]マウスカーソルが手のひらの時、ドラッグ(マウスの左ボタンを押したまま動かす)で画像を動かして見えない部分を表示出来ます。

[Gxview]の文字が表示されている時

Gxview を起動した状態の時は、現在の画像を簡単に見る機能しか有りません。

画像の任意の場所をクリックで、[Manual]に文字が変更されて、[Gxview モード]に変わります。

Gxview モードになると[] []の画像移動ボタンも表示されて高機能ビューになります。

[Manual]の文字が表示されている時

Gxview モードになっています、様々な機能が利用できます。

尚、画像リスト、フォルダリストで起動した場合は、この状態で起動します。

[右ボタン・クリック]でメニューが表示されます、メニューの各種機能が使用出来ます。

[]クリックで前の画像を表示します。スライドショー操作中も認知され、オートの移動方向を変更出来ます。

[]クリックで次の画像を表示します。スライドショー操作中も認知され、オートの移動方向を変更出来ます。

[Manual]の文字をクリックでオート画像変更(プチ・スライドショー)が出来ます。

[Shift]+[Manual]シフトキーを押しながらマウスをクリックで全画面の通常のスライドショーが実行されます。

[Manual]をクリックする時、左ボタンの時は正順で移動、右ボタンの時は逆順の移動となります。

尚、中ボタンを押した場合は、スライドショーを正順で実行します。

[Auto]オート再生作動時に表示されます。クリックでストップして、[Manual]に変わります。

[Select]セレクトモードの時表示、クリックでマーク画像のスライドショーに移ります。

[Auto(M)]マークスライドショーの時表示、クリックで[Select]に変わります。

[Shift]+[]クリックで体系別移動での前の体系の画像を表示します。

[Shift]+[]クリックで体系別移動での次の体系の画像を表示します。

[List ボックス]ファイル名のリストが表示されている時、ファイル名をクリックすると、その画像が表示出来ます。

全画面スライドショー、又は全画面表示の時、画面をクリックすれば通常画面に戻ります。

キー操作一覧

===== [キー操作] キーボードの操作 =====

起動時の状態の時『表示モード』の時、任意のキーを押すと『閲覧モード』に切り替わります。

[0] 数字の0キーを押すと、[][] [Manual]の表示を消したり、戻したり出来ます。

[2] 数字の8キーを押すと、[戻す]画像を最初の状態に戻します。

[4] 数字の2キーを押すと、[左90°回転]画像を左に90度回転させます。

[6] 数字の6キーを押すと、[右90°回転]画像を右に90度回転させます。

[8] 数字の4キーを押すと、[上下180°]画像を上下180度かいてんさせます。

[2~8]のキーはテンキーのみの対応です。回転は連続して処理が実行出来ます。

[]前の画像を表示します。スライドショー操作中も認知され、オートの移動方向を変更出来ます。

[]次の画像を表示します。スライドショー操作中も認知され、オートの移動方向を変更出来ます。

[]前のフォルダへ移動します。

[]次のフォルダへ移動します。

(注意)フォルダ移動はフォルダ移動出来る環境下でのみ操作出来ます。不適切な場合は無視されます。

画像リストモードでは無視されます。

[Shift]+[] 体系別移動で前の体系の画像を表示します。(この機能は、従来のファイル名使用モードでのみ機能します)

[Shift]+[] 体系別移動で次の体系の画像を表示します。(この機能は、従来のファイル名使用モードでのみ機能します)

[Shift]+[] 現在のフォルダ内で先頭の画像を表示します。

[Shift]+[] 現在のフォルダ内で最後の画像を表示します。

[Shift]+[¥]でタイトルバーにフルパス表示されます。

(注意)フォルダ移動はフォルダ移動出来る環境下でのみ操作出来ます。不適切な場合は無視されます。画像リストモードでも無視されます。

[Ctrl]+[] 現在のフォルダで上のフォルダ(親 Dir)に移動します。(垂直上)、フォルダリストモードでは先頭のフォルダに移動します。

[Ctrl]+[] 並列の前のフォルダに移動します。(平行前)

[Ctrl]+[] 並列の次のフォルダに移動します。(平行次)

[Ctrl]+[] 現在のフォルダで下のフォルダ(子 Dir)に移動します。(垂直下)、フォルダリストモードでは最後のフォルダに移動します。

(注意)フォルダ移動はフォルダ移動出来る環境下でのみ操作出来ます。不適切な場合は無視されます。画像リストモードでも無視されます。

[Ctrl]+[Alt]+[] 強制的に現在のフォルダで上のフォルダ(親 Dir)に移動します。(垂直上)

[Ctrl]+[Alt]+[] 強制的に並列の前のフォルダに移動します。(平行前)

[Ctrl]+[Alt]+[] 強制的に並列の次のフォルダに移動します。(平行次)

[Ctrl]+[Alt]+[]強制的に現在のフォルダで下のフォルダ(子 Dir)に移動します。(垂直下)

(注意)上記の移動は Gxview から変更されています。現在どのモード状態の時でも強制的に移動できます。

但し、移動出来るフォルダが存在しない場合は当然無視されます。
この処理を実行した場合、親は移動先のフォルダに設定されてしまいます、この為画像リストモード、フォルダリストモードの場合は通常の Gxview 画像閲覧モードに変更されます。移動モードは設定値を継承して変更されません。

[Ctrl]+[B]で直前の Folder 画像へ移ります。Folder を移動した時のみ 1 回だけ有効です。

[Ctrl]+[F]で Folder 移動の参照ウインドウが開きます。

[Ctrl]+[S]で起動時の画像 Folder へ戻ります。何処の Folder にいても戻れます。

[Ctrl]+[T]で先頭の Folder、現在移動可能な最上階層へ移動します。何処の Folder にいても移れます。

尚、Auto 移動中は[Ctrl]+[キー]の操作は処理されません。

[Shift]+[Ctrl]+[#]で現在表示している画像に回転表示 SW を付加します。

起動 Folder とは、「Gxview」が起動したフォルダで階層を越えて先頭の位置に戻ります。

[Space]Auto 実行時は Auto が終了します、通常は上下矢印キーと同じに次、又は前の画像に移ります、直前の操作状態により移動方向が変わります。

[Enter]現在の画像にマークを付けたり、はずしたり出来ます。
「マーク時 が画面に表示されます」

[Esc]終了できます。

スライドショーの実行時のキー操作

[Space] スライドショーを一時中断します。もう一度押すと、再開します。[Stop]をクリックしても再開出来ます。

[] 前の画像を表示します。スライドショー操作中も認知され、オートの移動方向を変更出来ます。コマ戻しします。この時「Stop」「クイック再生」共に解除されます。

[] 次の画像を表示します。スライドショー操作中も認知され、オートの移動方向を変更出来ます。コマ送りします。この時「Stop」「クイック再生」共に解除されます。

[] 次のフォルダへ移動します。

[] 前のフォルダへ移動します。

[Enter][Esc]スライドショーを途中終了して通常画面に戻ります。

画像をクリックしても終了出来ます。

[0]数字キーの0を押すと、テロップ文字を非表示に出来ます。

[1]～[7]の数字キーを押すとテロップの文字の色を変更出来ます。

[F1]～[F4]のFunctionキーでテロップ文字のサイズを変更出来ます。

[>> 早送り]

クイック再生(早送り再生)が出来ます、

[説明文、又はファイル名をクリック] スライドショーは早送りになります。

クイック再生中、画面左上に[]が表示されます、[]をクリックすると元に戻ります。

[Qキー] でもクイック再生出来ます。

==== スライドショーの実行時のマウス操作 ====

移動キーがスライドショー実行時に表示出来ます。マウスを画面の右上に持って行くと表示されます。このキーはキーボード操作とほぼ同じに操作出来ます。中央に[Stop]キーが有ります。

対応キー [マウス・ボタン操作]

||

[Enter] 画像を[中央]ボタン or [Shift]+でクリックするとスライドショーを中止してGxviewに戻ります。

[][] 画像を[左]ボタンでクリックするとコマ送りになります。正順、逆順の設定の方向でコマ送りします。

[画像] 画像を[右]ボタンでクリックすると再生方向が逆に変更されます。
この時[Stop][クイック再生]共に解除されます。

[Q キー] 画像{ファイル名}、又は{コメント}をクリックすると[クイック再生]になります。

[Space] 通常モードの時、画面の左上隅をクリックで再生停止[Stop]出来ます。
尚、{ファイル名}、又は{コメント}を[中央ボタン]でクリック又は、

[Shift]+[クリック]して再生停止[Stop]が出来ます。

[Space] 画像左上に[Stop]が表示中に、[Stop]をクリックすると停止が再開されます。

[Space] 画像左上に[>>]が表示中に、 [>>]をクリックするとクイック再生を中止して通常再生に戻れます。

<<機能別操作>>

[終了] [中ボタン]クリック
{Shift}+[ボタン]クリック
[Enter]キー

[コマ送り] [左ボタン]クリック、 []キー

[コマ戻し] [左ボタン]クリック []キー

[方向変更] [右ボタン]クリック []反対方向キー

[Stop] ファイル名 or コメントを[中ボタン]クリック、
画面の左上隅(0,0)-(200,100)の範囲をクリック、 [Space]キー

[Stop 解除] [Stop]クリックする
ファイル名 or コメントを[ボタン]クリック、 [Space]キー
画像をクリックする、 [コマ送り・戻し]に対応

[クイック再生] ファイル名 or コメントを[左右ボタン]クリック、 [Q]キー

[クイック解除] [>>]クリックする
ファイル名 or コメントを[ボタン]クリック [Space]キー
画像をクリックする、 [コマ送り・戻し]に対応

ポップアップメニュー

画像をマウスの右ボタンクリックでメニューが開きます。

Hf7view	(01) GmanX の起動
GmanX	(02) GrpeeX の起動
GrpeeX	(03) GxSort の起動
GxSort	(04) 画像マーク
画像マーク ▶	(05) 画像コピー
画像Copy	(06) 画像編集
画像編集	(07) 画像名変更
画像名変更 ▶	
Auto ▶	(08) Auto
画像移動 ▶	(09) 画像移動
フォルダ移動 ▶	(10) フォルダ移動
Explorer	
SubWindow ▶	(11) Explorer 起動
表示 ▶	(12) Sub・Window
	(13) 表示
拡大縮小 ▶	(14) 画像の拡大縮小
読み込みサイズ ▶	(15) 読み込みサイズ
	(16) 印刷
印刷	(17) オプション
オプション ▶	(18) Gxview の解説
Gxview解説	(19) 画像情報
画像情報	(20) バージョン
Version	(21) 終了
終了	

Hf7view		
GmanX		
GrpeeX		
GxSort		
画像マーク	▼ マーク表示	(401) マーク表示
画像Copy	マーク反転	(402) マーク反転
画像編集	SelectMode	(403) セレクトモード
画像名変更	マーク画像名変更	(404) マーク画像名変更
	画像転送	(405) 画像転送
Auto	マーク読出し	(406) マーク読み出し
画像移動	マーク保存	(407) マーク保存
ホルダー移動	マーククリア	(408) マーククリア
Explorer	画像リストへ追加	(409) 画像リストへ追加
SubWindow		
表示		
拡大縮小		
読込サイズ		
印刷		
オプション		
Gxview解説		
画像情報		
Version		
終了		

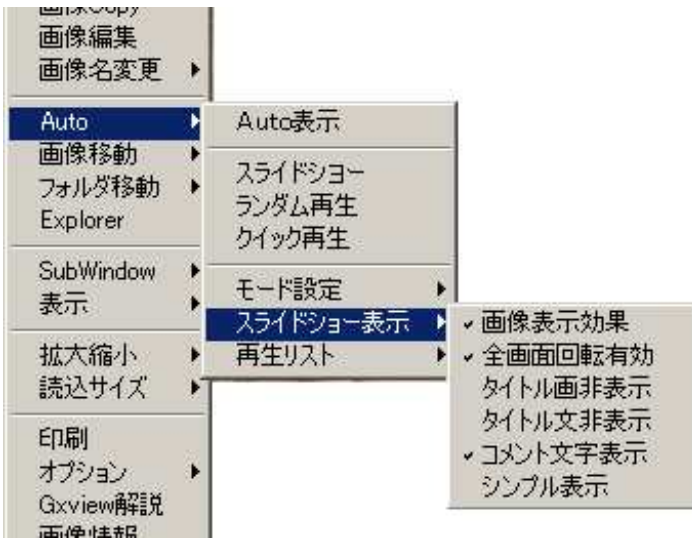
GmanX			
GrpeeX			
GxSort			
画像マーク	▼ マーク表示		
画像Copy	マーク反転		
画像編集	SelectMode		
画像名変更	マーク画像名変更		
	画像転送	▶ 画像コピ	(408-1) 画像コピー
Auto	マーク読出し	▶ 画像削除	(408-2) 画像削除
画像移動	マーク保存		
フォルダ移動	マーククリア		
Explorer	画像リストへ追加		
SubWindow			
表示			
拡大縮小			
読込サイズ			
印刷			
オプション			

画像Copy		
画像編集		
画像名変更	▶ 画像名変更	(701) 画像名変更
Auto	▶ 左回転Sw(&)	(702) 画像左回転 SW(&)
画像移動	▶ 右回転Sw(#)	(703) 画像右回転 SW(#)
フォルダ移動	▶ ✓ 画像名Mode	(704) 画像名モード
Explorer		

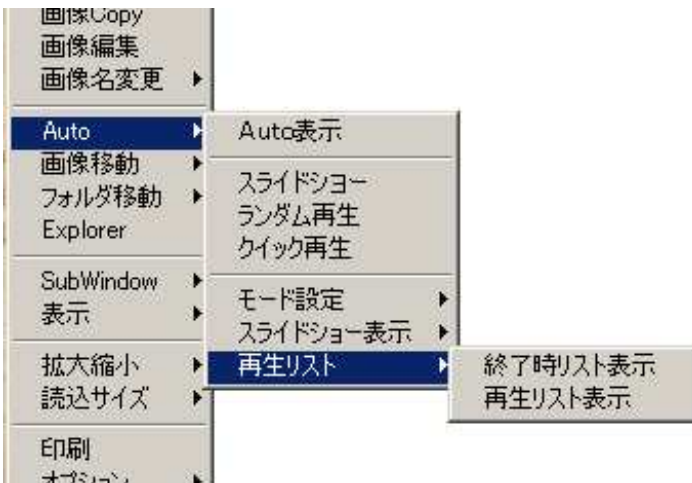
SmartX		
GrpeeX		
GxSort		
画像マーク	▶	
画像Copy		
画像編集		
画像名変更	▶	
Auto	▶ Auto表示	(801) Auto 表示
画像移動	▶ スライドショー	(802) スライドショー
フォルダ移動	▶ ランダム再生	(803) ランダム再生
Explorer	▶ クイック再生	(804) クイック再生
SubWindow	▶ モード設定	(805) モード設定
表示	▶ スライドショー表示	(806) スライドショー表示
拡大縮小	▶ 再生リスト	(807) 再生リスト
読込サイズ		
印刷		
オプション	▶	
Gxview解説		
画像情報		
Version		

画像表示		
画像名変更	▶	
Auto	▶ Auto表示	
画像移動	▶ スライドショー	
フォルダ移動	▶ ランダム再生	
Explorer	▶ クイック再生	
SubWindow	▶ モード設定	▶ フォルダ移動Mode
表示	▶ スライドショー表示	▶ コメント閲覧
拡大縮小	▶ 再生リスト	▶ 制限Dir設定
読込サイズ		
印刷		

(805-1) フォルダ移動モード
(805-2) コメント閲覧モード



- (806-1) 画像表示効果
- (806-2) 全画面回転有効
- (806-3) タイトル画非表示
- (806-4) タイトル文非表示
- (806-5) コメント文表示
- (806-6) シンプル表示



- (807-1) 終了リスト表示
- (807-2) 再生リスト表示

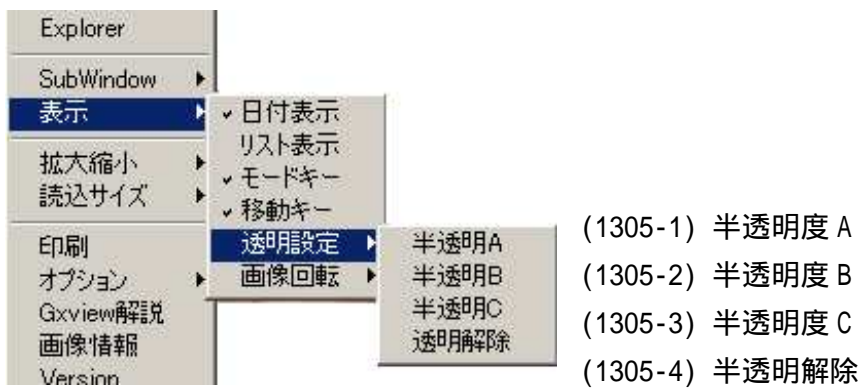
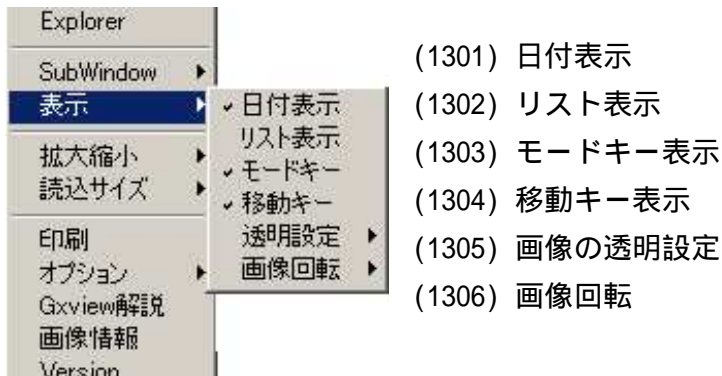
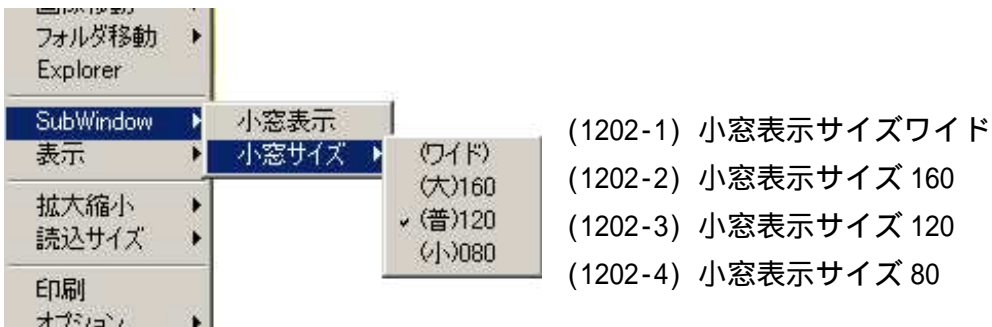
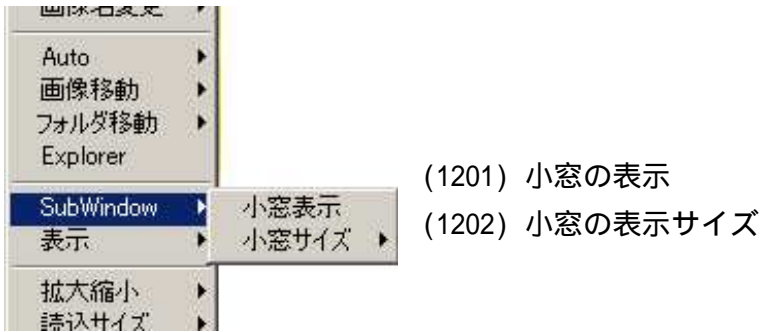


- (901) 最初の画像
- (902) 直前に戻す
- (903) 最後の画像

Auto		(1001) 先頭のフォルダ
画像移動		(1002) メモリー移動
フォルダ移動	先頭のDir	(1003) 直前のフォルダ
Explorer	メモリー	(1004) 親のフォルダ()
	直前のDir	(1005) 次のフォルダ()
SubWindow	親Dir (↑)	(1006) 戻るフォルダ()
表示	次Dir (→)	(1007) 子のフォルダ()
拡大縮小	戻Dir (←)	(1008) 起動フォルダ
読込サイズ	子Dir (↓)	(1009) 移動前の親フォルダ
印刷	起動のDir	(1010) 別のフォルダ
オプション	移動前親へ	(1011) フォルダ選択
Gxview解説	別のFolder	(1012) 親フォルダ変更
画像情報	フォルダ選択	
Version	親Dir変更	
終了		

Auto			
画像移動			
フォルダ移動	先頭のDir		(102-1) 現在のパスを記憶
Explorer	メモリー	FolderMemory	(102-2) 記憶したパスを読み出す
	直前のDir	FolderRead	
SubWindow	親Dir (↑)		
表示	次Dir (→)		
拡大縮小	戻Dir (←)		
読込サイズ	子Dir (↓)		
印刷	起動のDir		
オプション	移動前親へ		
Gxview解説	別のFolder		
画像情報	フォルダ選択		
Version	親Dir変更		
終了			

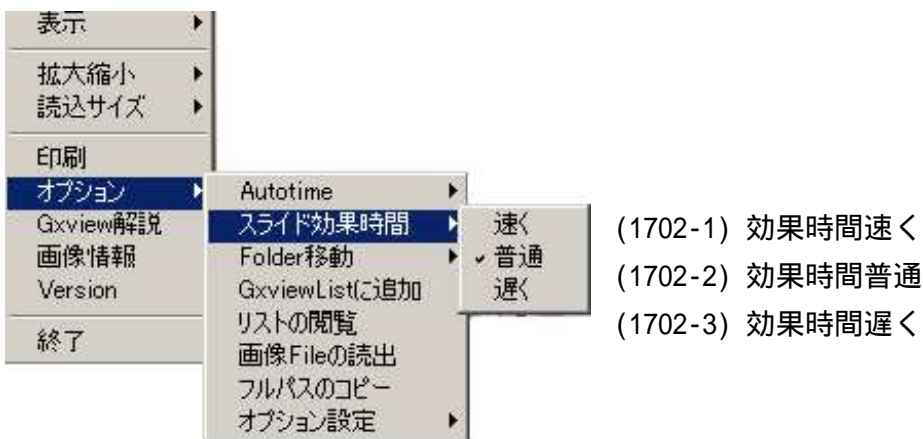
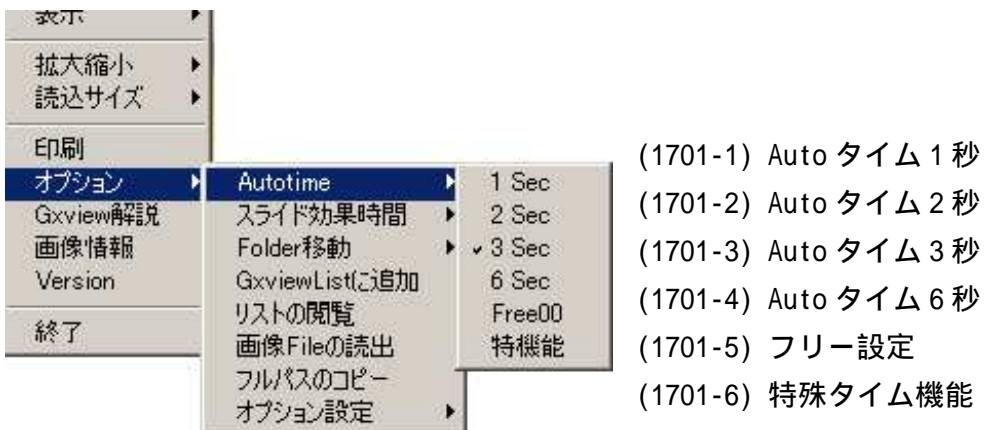
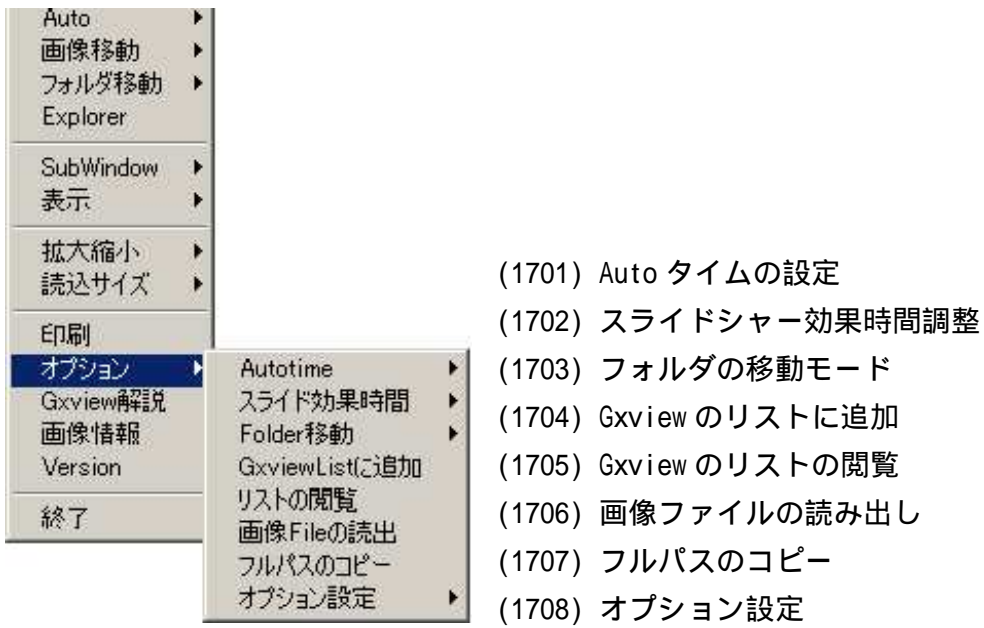
Auto			
画像移動			
フォルダ移動	先頭のDir		
Explorer	メモリー		
	直前のDir		
SubWindow	親Dir (↑)		
表示	次Dir (→)		
拡大縮小	戻Dir (←)		
読込サイズ	子Dir (↓)		
印刷	起動のDir		
オプション	移動前親へ		
Gxview解説	別のFolder		
画像情報	フォルダ選択	履歴読出し	(1011-1) 履歴を読み出す
Version	親Dir変更	GxList(画像)	(1011-2) GxList を選択
終了		GmanList	(1011-3) GmanList を選択

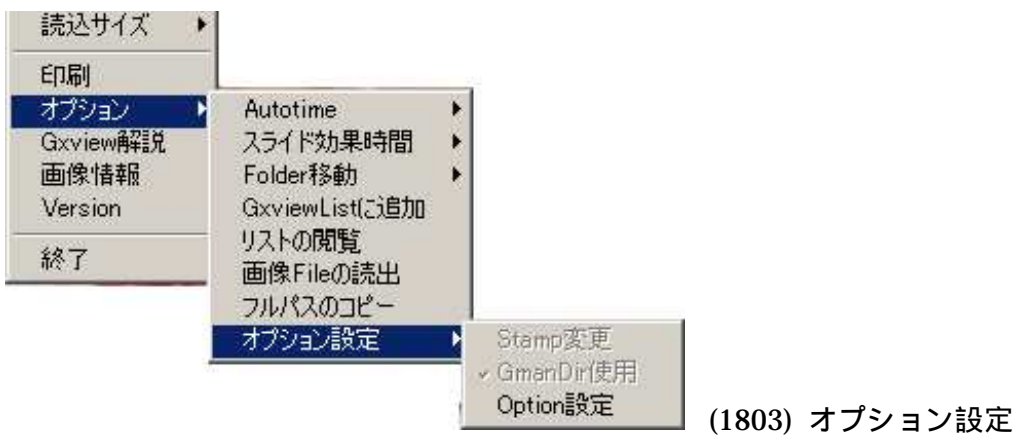
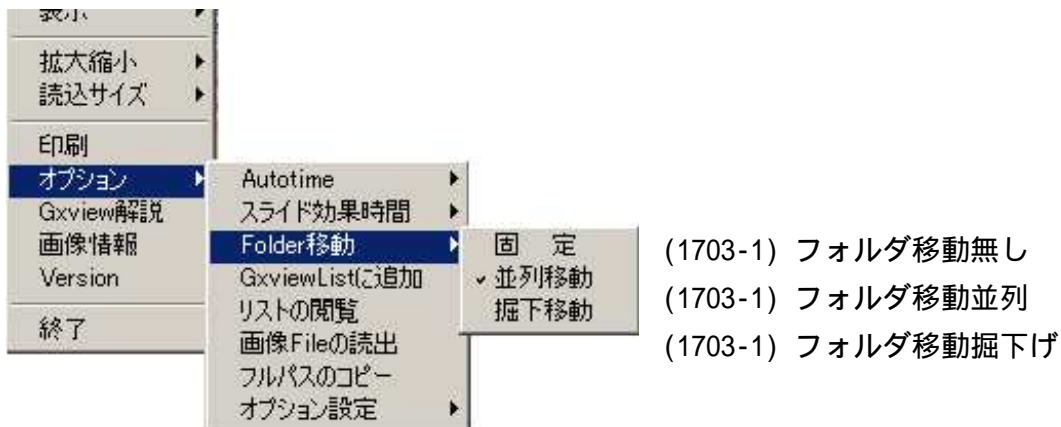


<ul style="list-style-type: none"> SubWindow ▶ 表示 ▶ 拡大縮小 読込サイズ 印刷 オプション ▶ Gxview解説 画像情報 Version 終了 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日付表示 リスト表示 ✓ モードキー ✓ 移動キー 透明設定 ▶ 画像回転 ▶ 	<ul style="list-style-type: none"> 左90° 回転 上下180° 回転 右90° 回転 左右ミラー 上下左右 上下ミラー 戻す 	<ul style="list-style-type: none"> (1306-1) 画像左 90 度回転 (1306-2) 上下 180 度回転 (1306-3) 画像右 90 度回転 (1306-4) 左右ミラー表示 (1306-5) 上下左右ミラー (1306-6) 上下ミラー表示 (1306-7) 回転状態を戻す
---	---	---	---

<ul style="list-style-type: none"> Explorer SubWindow ▶ 表示 ▶ 拡大縮小 ▶ 読込サイズ ▶ 印刷 オプション ▶ Gxview解説 画像情報 Version 終了 	<ul style="list-style-type: none"> _25% _50% _75% ✓ 100% 150% 200% 300% 画面 画像 	<ul style="list-style-type: none"> (1401) 画像を縮小 25% で表示 (1402) 画像を縮小 50% で表示 (1403) 画像を縮小 75% で表示 (1404) 画像を標準 100% で表示 (1405) 画像を拡大 150% で表示 (1406) 画像を拡大 200% で表示 (1407) 画像を拡大 300% で表示 (1408) 画像をスクリーンの大きさ最大で表示 (1409) 画像をスクリーンの大きさに合わせる
---	--	--

<ul style="list-style-type: none"> 表示 ▶ 拡大縮小 ▶ 読込サイズ ▶ 印刷 オプション ▶ Gxview解説 画像情報 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 通常サイズ 設定サイズ 画面サイズ 画像サイズ 	<ul style="list-style-type: none"> (1501) 画像読み込み時通常のサイズに戻す。 (1502) 画像読み込み時設定のサイズにする。 (1503) 画像読み込み時画面のサイズにする。 (1503) 画像読み込み時画像のサイズにする。
---	--	--





ポップアップメニュー各項目の説明

(01) GmanX の起動

現在のフォルダの内容で、「GmanX」を起動します。

「GmanX」がインストールされて無い場合は利用できません。

(02) GrpeeX の起動

現在のフォルダの内容で、「GrpeeX」を起動します。

「GrpeeX」がインストールされて無い場合は利用できません。


(03) GxSort の起動

現在のフォルダの内容で、「GxSort」を起動します。

「GxSort」がインストールされて無い場合は利用できません。

(04) 画像マーク

(401) マーク表示

マーク「」を表示したり、非表示にしたり出来ます。非表示にしてもマークは外れません。 マークを外すのは、「Enter」ではずしてください。

(402) マーク反転

現在のマークの付いている画像と付いていない画像のマークが反対になります。

(403) セレクトモード

マークが付いた画像のみで処理するモードです、マークの付いていない画像は表示されません。

(404) マーク画像名変更

マークが付いた画像名を変更します。

(405) 画像転送

(408-1) マークされたファイルを転送フォルダにコピーします。テキストも含む。

(408-2) 画像削除

マークされた画像をリストから削除します。(リストから削除されるだけでフォルダから削除はされません)

(406) マーク読み出し

マークリストを読み出します。データを読み込むと保存された時の画像にマークが付きます。

(407) マーク保存

マークリストを保存します。テキスト File で保存されます、テキストエディタで編集も出来ます。

(408) マーククリア

現在付いているマークを全てクリアーします。

(409) 画像リストへ追加

マークの付いているファイルを「Gxview リスト」へ追加します

(05) 画像コピー

表示中の画像をクリップボードへコピーします。

(06) 画像編集

画像編集エディタを起動します。編集エディタを設定してなければ使用出来ません。画像エディタは「オプション設定」で設定してください。

(07) 画像名変更

(701) 画像名変更

現在表示中の画像名を変更します。

(702) 画像左回転 SW(&)

表示中の画像に全画面表示の時に左 90 度回転して表示する為のスイッチ (&)を付加します。

(703) 画像右回転 SW(#)

表示中の画像に全画面表示の時に右 90 度回転して表示する為のスイッチ (#)を付加します。

(704) 画像名モード

GX シリーズの画像名を使うモードを設定します。通常はデフォルト設定されています。

(08) Auto

(801) Auto 表示

画像オート変更表示します。スライドショーの全画面表示ではなく、現在の表示状態のまま、次々と画像を変える表示方法です。

(802) スライドショー

全画面を使ったスライドショーを実行します。

(803) ランダム再生

スライドショーの表示される順番をランダムに変更するスライドショーを実行します。

(804) クイック再生

通常のスライドショーよりかなり速いスピードで実行するモードです、使用のシステムの内容により、あまり速くならない場合も有ります。

(805) モード設定

(805-1) フォルダ移動モード

スライドショーでフォルダ内の画像を 1 枚だけ表示して次のフォルダに移動していくモードです、何枚の画像が保存されていても 1 個のフォルダで 1 枚のみの表示となります。

(805-2) コメント閲覧モード

スライドショーで画像にコメントが付いている画像のみを順番に表示していくモードです、コメントの無い画像は表示されません。

(806) スライドショー表示

(806-1) 画像表示効果

スライドショーの表示効果をやめる事が出来ます。

(806-2) 全画面回転有効

スライドショーの時、回転スイッチで画像を回転するのを中止する事が出来ます。

(806-3) タイトル画非表示
スライドショーの時、タイトル画像に設定された画像は表示されなく
する事が出来ます。

(806-4) タイトル文非表示
スライドショーの時、タイトル文を表示しなくする事が出来ます。

(806-5) コメント文表示
スライドショーの時、コメント文を表示しなくする事が出来ます。

(806-6) シンプル表示
スライドショーの時、画像名の表示をシンプルな表示にします。

(807) 再生リスト

(807-1) 終了リスト表示
スライドショー終了時にスライドショー再生リスト一覧を表示する
事が出来ます。

(807-2) 再生リスト表示
前回実行されたスライドショーの再生リスト一覧を表示します。

(09) 画像移動

(901) 最初の画像
当該フォルダ内の先頭の画像を表示します。

(902) 直前に戻す
現在表示中の画像の前に表示されていた画像に戻る。

(903) 最後の画像
当該フォルダ内の最後の画像を表示します。

(10) フォルダ移動

(1001) 先頭のフォルダ

現在モードで先頭のフォルダに移動します(親フォルダ)。

(1002) メモリー移動

(102-1) 現在のパスを記憶

現在のパスを記憶して戻れるように設定します。

(102-2) 記憶したパスを読み出す

前項で記憶したパスへ戻ります。

(1003) 直前のフォルダ

フォルダを移動する直前の画像フォルダに戻ります。
但し直接移動した時のフォルダになります。

(1004) 親のフォルダ()

現在読み込みフォルダが子フォルダに移動している時、
親フォルダに戻ります。

(1005) 次のフォルダ()

現在のフォルダと同じ階層に画像の有るフォルダがある時移動します。
(次へ)移動

(1006) 戻るフォルダ()

現在のフォルダと同じ階層に画像の有るフォルダがある時移動します。
(前へ戻る)移動

(1007) 子のフォルダ()

現在のフォルダに画像の有る子フォルダがある時子フォルダへ移動しま
す。一階層下に下がります。

(1008) 起動フォルダ

起動時の画像フォルダに移動します。

起動時のフォルダを親として、親移動があった場合の処理となります。

(1009) 移動前の親フォルダ

親フォルダを移動する直前の親のフォルダに戻ります。
但し直接、親フォルダの移動した時のみとなります。

(1010) 別のフォルダ

フォルダ移動の参照ウインドウが開きます、ここから画像を選択して、
フォルダの移動が出来ます。

(1011) フォルダ選択

(1011-1) 履歴を読み出す

画像 View モードの履歴のリストを表示します。選択でフォルダの
変更が出来ます。

(1011-2) GxList を選択

画像リストの一覧を表示して選択でフォルダの変更が出来ます。

(1011-3) GmanList を選択

フォルダリストの一覧を表示して選択でフォルダの変更が出来ます。

(1012) 親フォルダ変更

現在の位置を親フォルダに変更出来ます。(フォルダ移動条件が変わりま
す。)現在のモードの如何に関わらず、現在表示している画像のパスを親
とした通常モードの環境になります。

画像リスト、フォルダリスト等で実行中の如何を問わず通常モードでの継続
となります。

移動モードを並列か、掘下げ移動で継続すると、その位置からフォルダ移動
が行えます。

(11) Explorer 起動

現在のフォルダで「Explorer」が起動します。

(12) Sub・Window

(1201) 小窓の表示

Sub Window(小窓)の表示をします、小窓で表示される画像は、現在のフォ
ルダの画像で、Auto 表示でフォルダ内の画像を次々と表示していきます。

(1202) 小窓の表示サイズ

(1202-1) 小窓表示サイズワイド

小窓のサイズを横長で表示します。

(1202-2) 小窓表示サイズ 160

小窓のサイズを中くらいで表示します。

(1202-3) 小窓表示サイズ 120

小窓のサイズを普通サイズで表示します。

(1202-4) 小窓表示サイズ 80

小窓のサイズを小さく表示します。

(13) 表示

(1301) 日付表示

画像の日付を表示


(1302) リスト表示

画像の表示されている位置に画像名一覧リストを表示します、又は非表示にします。

(1303) モードキー表示

画像上の(Manual)の文字を表示したり、非表示にしたりします。

(1304) 移動キー表示

画像上の移動キー()を表示したり、非表示にしたりします。

(1305) 画像の透明設定 (Windows Me、Windows98 では使用出来ません)

(1305-1) 半透明度 A

Gxview を半透明に設定します。(Gxview は透けて見えます)

透明度・高い

(1305-2) 半透明度 B

Gxview を半透明に設定します。(Gxview は透けて見えます)

透明度・中位

(1305-3) 半透明度 C

Gxview を半透明に設定します。(Gxview は透けて見えます)
透明度・低い

(1305-4) 半透明解除

半透明の設定を解除します。

(1306) 画像回転 (Windows Me、Windows98 では使用出来ません)

(1306-1) 画像左 90 度回転

画像を左に 90 度回転させます。(4)数字キーに対応

(1306-2) 上下 180 度回転

画像を左右に 180 度回転させます。(8)数字キーに対応

(1306-3) 画像右 90 度回転

画像を右に 90 度回転させます。(6)数字キーに対応

(1306-4) 左右ミラー表示

画像を左右対称に変換します。

(1306-5) 上下左右ミラー

画像を上下左右対称に変換します。

(1306-6) 上下ミラー表示

画像を上下対称に変換します。

(1306-7) 回転状態を戻す

画像の回転を元に戻します。(2)数字キーに対応

(14) 画像の拡大縮小

(1401) 画像を縮小 25% で表示

画像を実サイズの 25% の大きさに縮小する。

(1402) 画像を縮小 50% で表示

画像を実サイズの 50% の大きさに縮小する。

(1403) 画像を縮小 75%で表示
画像を実サイズの 75%の大きさに縮小する。

(1404) 画像を標準 100%で表示
画像を標準の実寸で表示する。

(1405) 画像を拡大 150%で表示
画像を実サイズの 150%の大きさに拡大する。

(1406) 画像を拡大 200%で表示
画像を実サイズの 200%の大きさに拡大する。

(1407) 画像を拡大 300%で表示
画像を実サイズの 300%の大きさに拡大する。

(1408) 画像を画面の大きさ最大で表示
画像をスクリーン画面の大きさに合わせます、画像がスクリーン画面より小さい場合は、スクリーン画面の最大表示サイズに合わせられ拡大します、逆に画像がスクリーン画像より大きい時は縮小してスクリーン画面で全体が表示されます。

(1409) 画像に合わせる
画像がスクリーン画面の大きさより大きい場合は、画像を縮小して画像全体が表示される大きさに変更します。スクリーン画面より画像が小さい場合は、そのままな変更なく表示します。

(15) 読み込みサイズ

(1501) 画像読み込み時通常のサイズに戻す。
通常はこのサイズで使います。サイズ変更しても、画像を移動する時は等倍率で表示されます。

(1502) 画像読み込み時設定のサイズにする。
サイズの変更を維持して次の画像に移ります。画面サイズや画像サイズも維持して使用出来ます。

(1503) 画像読み込み時画面のサイズにする。
次の画像へ移動する時、表示サイズを画面サイズより大きい時は縮小、小さい時は画面の大きさに拡大する。

(1503) 画像読み込み時画像のサイズにする。
次の画像へ移動する時、画像が画面より大きい時は縮小して画面サイズに合わされます。

(16) 印刷

現在の表示画像を簡易印刷します。プリンタの設定は別でして下さい。
現在の表示サイズで印刷出来ます。

(17) オプション

(1701) Auto タイムの設定

(1701-1) Auto タイム 1 秒

スライドショーの時間設定が出来ます。「1 秒」に設定します。

(1701-2) Auto タイム 2 秒

スライドショーの時間設定が出来ます。「2 秒」に設定します。

(1701-3) Auto タイム 3 秒

スライドショーの時間設定が出来ます。「3 秒」に設定します。

(1701-4) Auto タイム 6 秒

スライドショーの時間設定が出来ます。「6 秒」に設定します。

(1701-5) フリー設定

スライドショーの時間設定が出来ます。「1 秒 ~ 60 秒」の間で設定出来ます。

(1701-6) 特殊タイム機能

スライドショーでコメントのある時は表示時間を長くする設定です。
クイック再生時は無視されます。目安は 6 秒から 12 秒の間で動作します。設定時間が 6 秒以上の場合は無視されます。

(1702) スライドショー効果時間調整

(1702-1) 効果時間速く

(1702-2) 効果時間普通

(1702-3) 効果時間遅く

スライドショーの時に表示効果が遅すぎたり、速すぎたりした時に調整します。但しシステムの構成内容ではあまり変化が無い場合も有ります、通常は普通で使用していて、速すぎる場合の調整を目安にしています、脆弱なシステムで表示に時間がかかり過ぎてイラック場合はスライドショー効果をオフでお使い下さい。

(1703) フォルダの移動モード

画像がフォルダ内の最後まで移動した時、自動で次のフォルダへ移動する様に設定出来ます。この時の移動方法をここで設定します。

(1703-1) フォルダ移動無し

フォルダは自動には移動しません。

画像がフォルダ内の最後の場合、次は先頭の画像に戻ります。

(1703-1) フォルダ移動並列

画像がフォルダ内の最後の場合にはフォルダは現在のフォルダと同列の階層の次フォルダに移動し画像は移動後のフォルダ内で先頭の画像へ移動します、

(1703-1) フォルダ移動掘下げ

画像がフォルダ内の最後の場合にはフォルダは現在のフォルダの子フォルダへに移動し画像は移動後のフォルダ内で先頭の画像へ移動します、

(1704) Gxview のリストに追加

現在表示中の画像を Gxview リストへ追加します。

(1705) Gxview のリストの閲覧

現在の Gxview リストの一覧を表示します。

(1706) 画像ファイルの読み出し

現在のフォルダ内全ての画像をリストへ追加します。

画像がリストから削除(無効)されている画像が有る時、全ての画像を追加(有効)して処理できます。

(1707) フルパスのコピー

現在表示中の画像のフルパスをクリップボードへコピーします。

テキストデータとして他へ貼り付けする事が出来ます。

(他で、プロパティにパスを貼り付ける時に便利)

(1708) オプション設定

(1708-3) オプション設定

Gxview の各種オプション設定がここから出来ます。

(18) Gxview の解説

Gxview の簡単な解説を表示します。

(19) 画像情報

現在表示中の画像情報。

(20) バージョン

Gxview の Version

(21) 終了

終わらせます。